

## 2004/2005 年度 L-ラーニング学習支援システム研究分科会記録

### (第7回) 記録

日 時：平成17年11月25日(金) 13:00~18:30

場 所：日本女子大学 図書館多目的室

出席者：阿部(東京歯科大学) 池田(多摩大学)、小田切(麻布大学)、金子(早稲田大学)、  
佐藤(駒澤大学)、豊田(NDL オブザーバ)、高野(日本女子大学:記録)、

配布物：第7回 L-ラーニング学習支援システム研究分科会タイムテーブル

研究分科会報告大会日程

研究分科会報告大会発表会へのご案内

研究分科会報告大会使用機一覧

#### 1. 事務連絡

合同会議報告

- 活動報告書は活動計画書のままではなく、中間報告として書き直す。
- 12/9 までに新規・名称変更は申請をする。当分科会は名称が長い点が、変更は印鑑などの再作成を伴うのでそのままとする。
- 報告大会について

質疑を含めて 50 分厳守。

会場の下見ができるが、当分科会は参加しない。(縦長の 100 名収容会場)

#### 2. 研究分科会報告大会発表演習

佐藤案パワーポイント(ppt)を元に意見交換。

- 表紙の次に発足までの経緯と、研究の背景を入れる。
- 基本コンセプトを3段階としてまとめる。研究テーマ

研究計画(目標)

第1フェーズ 模擬試験、問題作成方法(図)、メール・掲示板・TakaQ

第2フェーズ 模擬試験への評価、第1フェーズの課題、L-ラー的体系学習システム  
(模擬試験画面と、現在の体系学習システムの実演を繰り返す)

第3フェーズ 総合的学習支援システム(模擬試験/体系/ニュースなどを包含)

- コミュニティーサイト

提供方法としての Xoops の利点と、グループウェア(コミュニティー機能)としての CMS の実験的活用。

- 次期フェーズのプロトタイプ  
ポータル化と Wiki の利用。
- その他 会場を考慮して ppt の文字は大きくする。

### 3. 報告大会までの推敲方法

- 配布物は来週始めまでに原稿を送るか、150部刷って郵送する。
- ppt の 18 ページと別に、用語解説と参考文献を Word1 枚にまとめる。
- できたものはメーリングリストには流せないなので、各自に池田氏からメールで送る。
- メールにて推敲。発表者佐藤氏、阿部氏が最終的にまとめる。

以上